



国際ロータリー第 2670 地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2015-2016

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	IT・広報委員会

会長	古低	家田	敏	弘
幹事	長	陽	介	則
副会長	事	原	良	憲
副幹事	村	上	義	理
S.A.A	加	藤	和	



今週のプログラム 第 2254 回 11月13日

客話:「異国文化に触れて」米山奨学生 黄 意涵 様

担当者	米山奨学委員会	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	---------	-----	--------------

先週のプログラム 第 2253 回 11月6日

客話:「プロ野球界 あれこれ」渋谷幸春様

担当者	プログラム委員会	例会場	JRホテルクレメント高松
-----	----------	-----	--------------



古家会長報告



多田会員より渋谷様の紹介



客話:渋谷幸春様



Happy Birthday 鳥養会員

会長報告

- ・ブルーバッジ贈呈:石井会員
- ・今回は先月に初めてやってみました、円卓の食事です。前回は中華料理でしたが、今回は和洋折衷です。また感想を聞かせてください。
- ・今年の秋の叙勲が発表され、曾我部会員が旭日双光章を受賞しました。祝賀会については医師会とも相談し、開催できればと思っています。



幹事報告

- ・案内:地区概況の資料に訂正があります。
- ・ガバナー月信の最新号が届いています。
- ・先日、炉辺会合を開催しましたが、後半のプログラム編成についてプログラム委員会より「推薦のお願い」があります。お知り合いの方などでご推薦できる方がいましたら、自薦他薦を問いませんので是非お声掛けください。

メイクアップ

11月2日 高松北RC 江島 泉谷 朝倉 野口 多田 村上

出席報告		出席委員長:鈴木雅博	
会員数 /	52名	出席規準数 /	51名
出席者数 /	29名	欠席者数 /	22名
出席率 /	56.86%	ビジター /	0名
最終出席率 /	10月23日		63.27% → 79.59%

11月13日 今日は何の日		今日生まれの有名人	
うるしの日・炉開き	1972年 木村拓哉	1948年 由紀さおり	
1890年 我国最初のエレベータ運転開始	1966年 見栄晴	1946年 大原麗子	
1980年 沖縄本島で新種の鳥「ヤンバルクイナ」が発見される	1951年 伊勢正三	1896年 岸信介	
誕生花	ホタルブクロ、花言葉は“誠実”		
誕生石	ダイヤモンド(diamond)、宝石言葉は“清浄無垢”		

四つのテスト	
言行はこれに照らしてから	
1. 真実かどうか	
2. みんなに公平か	
3. 好意と友情を深めるか	
4. みんなのためになるかどうか	

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2014pdf/11-13.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX

誕生祝いを頂きました。 鳥養
先日の香川県ロータリー親睦ゴルフ大会で果物を沢山いただきました。(回れ右優勝?) 加藤

合計 2 件

本 日 の 合 計 6,000円

2015-2016年度累計 560,500円

例会変更

- 11月12日(木) 高松グリーンRCは11月15日(日)11:00綾菊酒造株式会社(職場訪問例会)に変更
- 11月20日(金) 小豆島RCは11月18日(水)12:30国民宿舎小豆島に変更
- 11月24日(火) 丸亀東RCは12:30金剛禅総本山少林寺(職場例会)に変更
- 11月26日(木) 丸亀RCは18:30新入会員歓迎会に変更
- 11月27日(金) 高松西RCは11月29日(日)秋季家族旅行に変更

松下 幸司 会員より (ミラノ速報)

ミラノ万博「日本の祭典inミラノ」に参加し、無事帰国しました。詳細は追って例会でご報告いたします。



ロータリー財団の奨学金

ロータリー財団国際親善奨学金は、1947-48年度に18人の学生を派遣して以来、約半世紀にわたり、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進することを目的として、およそ4万2,000人の学生を支援してきました。元奨学生である学友は、それぞれの専門分野で活躍するとともに、ロータリークラブの会員と一緒にさまざまな活動に参加しています。

2013年7月からこの奨学金制度が変更され、国際ロータリーが定める「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「経済と地域社会の発展」の6つの重点分野を研究するより専門性の高い研究者のためのものと、地域に合った奨学制度の2つを採用することになりました。

奨学生の募集時期、募集内容は、地区によって異なりますから、各地区のガバナー事務所にお問い合わせください。

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センターは、2002年に創設。ロータリー平和フェローと呼ばれる奨学生は世界の7つの大学にある6つのロータリー平和センターで平和や紛争解決のための研究を行います。すでに700人以上が卒業し、世界の各地で、国際理解を推進し平和を築くために働いています。日本では東京の国際基督教大学(ICU)がロータリー平和センターとなり、毎年約10人のフェローが2年間の修士号習得プログラムに参加しています。

日本に最初のロータリークラブを創立した米山梅吉(1868~1946)の名前を取った、日本で学ぶ海外からの留学生のための奨学金です。日本全国のロータリークラブの会員や会員企業の寄付によって、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が運営しています。これまでに支援した奨学生は121か国1万7,545人にのぼり、日本の民間奨学財団では最大規模となっています。

米山記念奨学事業の特長は、奨学生一人に一つのロータリークラブが世話クラブとなって、日本での留学生活における精神的な支えとなっていることです。ロータリーが求める平和の精神を胸に刻んで巣立った元米山記念奨学生には、駐日韓国大使やスリランカ警察庁長官、台湾の故宮博物院院長を務めた人などがいます。元奨学生を中心に組織される米山学友会は海外を含めて35あり、災害時のボランティアや地域の清掃活動、小学生との国際交流事業など、さまざまな活躍をしています。

詳細は、公益財団法人ロータリー米山奨学会のホームページ(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>)をご覧ください。

この他にも、独自の奨学金を支給しているクラブがあります。また、東日本大震災で親を亡くした子どもたちが、大学(短期大学)または専門学校へ通うための「ロータリー希望の風奨学金」も支給しています。

次週のプログラム

第 2255 回

11月20日

客話:「紙彫刻について」 紙彫刻家 中村耕二様

担当者 プログラム委員会

例会場 JRホテルクレメント高松